

# 北海道における高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜の確認及び「農林水産省鳥インフルエンザ防疫対策本部」の持ち回り開催について

[Tweet](#)[印刷](#)令和4年11月7日  
農林水産省

本日（11月7日（月曜日））、北海道伊達市の家きん農場において、家畜伝染病である高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜が確認（今シーズン国内6例目、北海道2例目）されました。  
これを受け、農林水産省は、「農林水産省鳥インフルエンザ防疫対策本部」を持ち回りで開催し、今後の対応方針について決定します。

## 1.農場の概要

所在地：北海道伊達市  
飼養状況：約15万羽（肉用鶏）

## 2.経緯

- （1）昨日（11月6日（日曜日））、北海道は、道内伊達市の農場から、死亡羽数が増加している旨の通報を受けて、当該農場に対して移動の自粛を要請するとともに農場への立入検査を実施しました。
- （2）同日、当該鶏について鳥インフルエンザの簡易検査を実施したところ陽性であることが判明しました。
- （3）本日（11月7日（月曜日））、当該鶏について遺伝子検査を実施した結果、高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜であることを確認しました。

## 3.今後の対応方針

本日、「農林水産省鳥インフルエンザ防疫対策本部」を持ち回りで開催し、今後の防疫措置について速やかに決定します。

## 4.農林水産省鳥インフルエンザ防疫対策本部

日時：令和4年11月7日（月曜日）（持ち回り開催）

## 5.その他

- （1）我が国の現状において、鶏肉や鶏卵等を食べることにより、ヒトが鳥インフルエンザウイルスに感染する可能性はないと考えております。[https://www.fsc.go.jp/sonota/tori/tori\\_infl\\_ah7n9.html](https://www.fsc.go.jp/sonota/tori/tori_infl_ah7n9.html)（外部リンク）
- （2）現場での取材は、本病のまん延を引き起こすおそれがあること、農家の方のプライバシーを侵害しかねないことから、厳に慎むよう御協力をお願いいたします。  
特に、ヘリコプターやドローンを使用しての取材は防疫作業の妨げとなるため、厳に慎むようお願いいたします。
- （3）今後とも、迅速で正確な情報提供に努めますので、生産者等の関係者や消費者は根拠のない噂などにより混乱することがないよう、御協力をお願いいたします。

## お問合せ先

### 消費・安全局動物衛生課

担当者：星野、金子  
代表：03-3502-8111（内線4581）  
ダイヤルイン：03-3502-5994